



インスピレーションに
なるう
2018-19 RIテーマ

The Rotary Club of Koshigaya

国際ロータリー 第2770地区 第8グループ



越谷ロータリークラブ

事務局：越谷市越ヶ谷本町 8-7 TEL.048-965-0550 FAX.048-965-6000 Email. koshirc@crocus.ocn.ne.jp

◆会長／平田 徳久 ◆副会長／須賀 定吉 ◆幹事／若海 宗承 ◆クラブ広報委員長／横家 豪

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念に結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなの為になるかどうか

今月の例会予定

- 12/4 結婚・誕生祝 年次総会
 12/11 会員卓話「私の履歴書」新井進パスト会長
 12/18 月間卓話 桃木俊郎会員
 12/25 クリスマス家族例会
 東京ディズニーランドホテル PM6 時点鐘

◆ 会長挨拶

平田徳久会長

皆さんこんにちは。まずは第8Gガバナナー補佐 大熊進様・IM実行委員長 池田玄一様ようこそ越谷RCへ。平素は大変お世話になりました。ありがとうございます。



また越谷中 RC 幹事の菊池貴光様もようこそお越し下さいました。クラブ運営も後7ヵ月、共に頑張りましょう。皆様には後程ご挨拶も宜しく願います。又、本日は埼玉県立大学理事長の田中滋先生に「多世代共生社会づくりと埼玉県立大学」をテーマにお話を頂きます。大変お忙しい中ご講演をお引受け頂きまして誠にありがとうございます。会員一同楽しみにしておりますので宜しくお願い申し上げます。

さて、会長挨拶ですが、先週はキャンベルタウン RC との姉妹クラブの歴史について触れました。今日は越谷ロータリー教育賞についてお話しします。先週22日の木曜日に越谷コミュニティセンターにて平成30年度越谷市教育功労者等表彰式が行われました。私と坂巻会長エレクトそして小暮社会奉仕委員長の3名が主催者として参加してきました。これは教育功労者・永年勤続者・優秀教職員や多額寄付者を表彰するものですが、併せて越谷ロータリー教育賞があり越谷市教育委員会と越谷RCが共催しています。高橋市長や武藤市議会議長等そうそうたる方々が来賓として出席され大変格調高い式典です。そもそも越谷ロータリー教育賞は奉仕活動の一環として、創立早々の昭和37年にスタートし、それ以来、毎年越谷市教育功労者等表彰と共に表彰してまいりました。これまでに168人の教員の皆様が受賞されている歴史ある賞です。越谷市内での研究業績や勤務実績に基づいた成果や取組が、自校にとどまることなく越谷市教育に貢献している事を表彰の基準としており、越谷市内小中学校45校において、教育に携わる多くの教員の皆さんの励みとなる荣誉ある賞として定着しています。今回は3名の先生が受賞され、誠に僣

越でしたが私が会長として表彰してきました。昭和37年スタート以来56年もの長きにわたり、諸先輩が地道に継続してきた越谷 RC の社会奉仕事業でありますので会員の皆さんには、誇りをもってご理解・ご認識頂き、今後もしっかりと続けて行かなければと思います。以前は受賞された先生方の研究内容を例会で発表してもらっていましたが、昨今ではスケジュールの関係で出来なくなっており残念ですが、今後は先生方と相談して発表の機会を作り、会員の皆さんに研究成果を披露して頂ければと思います。尚、我が越谷 RC の堀貴宣会員がPTA会長を始め長年のPTA活動が認められ、教育功労者として表彰を受けておられました。誠にありがとうございました。以上をもちまして本日の会長挨拶と致します。ありがとうございました。

◆ 幹事報告

若海宗承幹事

1、29日(木)にポリオ撲滅カウントダウンチャリティーコンサートが彩の国さいたま芸術劇場にて午後6時半より開催されます。



2、30日(金)にRL

I (ロータリーリーダーシップ研究会)パートIIが大宮ソニックシティにて午前9時半より開催されます。木村会員・小暮会員が出席します。

3、来週12月4日は年次総会を開催しますので多くの皆様のご出席をお願いします。また例会終了後、2階研修室にて定例理事会を行います。理事・役員の皆様ご出席を宜しくお願いします。

◆ 委員会報告

◎ 国際奉仕委員会

永島信之副委員長

今週金曜日からマニラの公立小学校一貫校という事で5年前に火事で何も無い状態のところ国際奉仕委員で下見に行ってきます。中川さん・澤石さん・江藤くん・近藤くん・中村謙くん・私で行って参ります。本番は2月21日から3泊4日にて行います。大勢で行きたいと思っておりますので宜しくお願いします。先程のメンバーはこの後2階研修室で打合せを行いますので集まって下さい。

◆ 挨拶

◎ 第8Gガバナー補佐

大熊 進様

越谷南 RC の大熊でございます。今日はIMのキャラバンに参りました。来年1月26日ギャザホールにて開催致します。今年のIMのテーマは「いつか世界を変える力になる」です。これは青少年奉仕の方の、越谷 RC は文教大学 RAC、他にも RAC を提

唱しているクラブは沢山ございます。その高校生・大学生をお招きします。講師の方は元青年海外協力隊

(JAICA)に行った方の経験談をお話頂きます。1名は山口さんといってケニアに行きまして、もう1名は菅野さんと言って小学校の教員としていったそうです。この方の話を皆さんに聞いて頂き、これから世界に飛び立とうという気持ちを植え付けたいと考えこのテーマにしました。青少年海外協力隊は色々な国にいております。こういうテーマで今年のIMをやっていきたく思います。最後は新年祝賀会を開催致します。アトラクションを考えまして、踊りあり歌あり、時間の許すかぎり楽しんで頂き新年を祝いたいと思います。是非多くご参加頂き盛大に行いたいと思います。宜しくお願い致します。



◎ IM実行委員長

池田玄一様

3年ぶり、浅水ガバナー年度では大変お世話になりました。今回はIMの実行委員長としてキャラバンに参りました。昨年ガバナー補佐の関係で職業奉仕がテーマでした。今年は大熊ガバナー補佐が青少年関係をやりたいと、来年は新井さんがガバナー補佐という事で参考になればと思います。IMは式典と記念講演と賀詞交歓会ですが、また別の日にゴルフを行います。是非ご参加頂き楽しんで頂ければと思います。JAICAの方ですが当クラブの吉田パストガバナーが越谷の国際交流協会の会長という事で、吉田パストの方からJAICAがいいのではないかとこの事で紹介頂いたという事です。これからは若い人たちの国際化がどんどん必要な時代です。ロータリアンもそれなりに国際化に向かっていかなければならないので、ご理解頂きご協力・ご支援頂ければと考えております。



◆ 挨拶

越谷中RC幹事 菊地貴光様

日頃から越谷 RC の皆様には大変お世話になっている事を改めて御礼申し上げます。本来であれば高橋護会長ともども表敬訪問するところですが、会長が本日所要のため欠席し幹事一人で何しに来たのかと思われるかと思いますが表敬という事です。例会が同じ火曜日という事でなかなか行き来が難しいの

ですが、本日は当クラブが夜間例会という事でお邪魔する事ができました。また後日改めて会長と正式な表敬訪問したいと思えます。宜しくお願い致します。



◆ 「多世代共生社会づくりと埼玉県立大学」

埼玉県立大学理事長 田中 滋様

卓話者紹介：井橋吉一パストガバナー

田中先生は現在埼玉県立大学の理事長を務められています。また慶應義塾大学の名誉教授でもございます。先生の専門は医療経済学・医療政策・高齢者ケア政策・地域包括ケアシステム論です。学会関係は日本介護経営学会会長・日本ヘルスサポート学会理事長・日本ケアマネジメント学会理事・医療経済学会理事・地域包括ケア研究会座長という職をしていらっしゃいます。また公職としては社会保障審議会委員・医療介護総合確保促進会議座長・協会けんぽ運営委員長という事で、協会けんぽには4,000万人の会員がいて10兆円の保険が使われているという事です。学歴は慶應義塾にて普通部から商学部、大学院まで通われました。以後慶應義塾大学のビジネススクールに教授として携われ、2014年の定年退職後、同研究会に設けられたヘルスマネジメント・イノベーション寄付講座を拠点に名誉教授として教育研究に活躍されました。そして今年の4月から埼玉県立大学の理事長に就任されました。理事長としては前任の江利川さん、その前は利根さんという事で利根さんには当クラブ例会でお話頂きました。今回は大変お忙しい中、田中先生に卓話をお願いしました



埼玉県立大学理事長 田中 滋様

今日は私の専門である医療政策・介護政策の観点からお話を致します。皆さんは介護という言葉をご存知です。しかしこの介護という言葉は昔からある言葉ではございません。介護は歴史上極めて新しい言葉です。医療は人類が発生して以来、昔からあったはずで、人類が発生したのは300万年前、色んな人類が発生しました。20何番目の人類がホモサピエンスになって20万年、ずっと看取りはありました

し病気になる人はいた。しかし介護はなかった。ネアンデルタール人も看取りはあったようです。しかし病気に対して効果のある手段はありませんでした。一部の薬草以外に効き目はありません。あとはお祈りです。世話をする。病気の人にご飯を持ってくるといった事はしたでしょうけど別に手段は無かった。19世紀の半ばまでそうでした。介護というのは病気になっても死ななくなってから発生する事象です。19世紀の半ばまでは人は病気になると、あるいは20世紀の半ばまでは人の死因の一位は脳卒中です。たぶん即死しているかまあ一週間位。その場合、介護は発生しないんですね。看取りか看病しか発生しません。私も20世紀全般生まれです。その頃の子供達は急性感染症・腸チフスとか日本脳炎とかにかかったものです。そういう子は間に合えば助かる。間に合わなければ亡くなる。治った場合、一月後には普通に学校に来られます。ところが人が病気になって死なないだけの医療技術が出来て健康寿命が終わって人が5年10年生きるようになると要介護なるものが発生します。介護という言葉がいつからあったかという、1980年位、83年の広辞苑には介護とは介抱、看護であると書いてあります。医療と区別がついてなかったんですね。今では介護と看護は違います。看護はナースが行う医療的ケアです。介護はヘルパーさんが来ておむつを替えてくれたり、体を洗ってくれたりで医療的ケアとは違います。昔は言葉が無かった。それは事象がなかったから。言葉は事象があれば必ず発生します。日本は雨に関する言葉が大変に多いです。それは雨の種類が多いからです。シトシト降る雨・ザーザー降る雨・霧雨とか沢山あります。色もそうです。四季がゆっくりと進んでいきます。葉っぱの色も次第に黄色くなり赤くなりしていく色の変化が見える。グラデーションで色が変わっていくので色の言葉が発達します。ところが我が国では砂があまりないので、砂に関する言葉はモンゴルの100分の1くらいしかありません。清少納言は沢山の事を日記に残していますが、介護という言葉はありません。紫式部の話にも病気やお産の失敗の話は出てきますが、誰かが要介護になったという話はありません。江戸時代、近松門左衛門の心中物語にも介護心中なんて出てきません。鶴屋南北、幕末の優れた作者、彼の物語にも介護は出てきません。鶴屋南北が今いたら介護殺人をきつ



と書いたと思います。介護は介助と看護から言葉を創りました。英語では介護という言葉はありません。ロングタームケアです。一つの言葉になってないんです。事象が新しいから言葉がまだないんです。新しいものだという事を意識して下さい。1960年代の日本は満たされない医療ニーズがありました。61年には皆保険制度ができた時です。病気になっても医療を受けられるのは払える人だけでした。もちろん大企業には健康保険組合がありました。一番古いのは1922年三菱グループから始まっていますが、中小企業には無かった。人口の4割を占めていた農民をカバーする保険は完成していませんでした。治療を受けたくてもペニシリンを使えないから死んじやったという人がいっぱいいます。そのニーズが満たされたはじめ5割給付だったのが7割給付、やがて東京都を筆頭に70年代からは老人たちに10割給付が始まります。それまで我慢していた人が医療マーケットの需要として現れます。70年代・80年代に医療関係者は病院を大きくしました。需要があるのだったら提供しなきゃ損だし社会的使命も果たせない。その成果がこのグラフです。1960年から55年間で高齢の女性の死亡率がどれくらい減ったかを表しています。医療技術が発達すると最初は子どもが死ななくなります。私の双世代上は子どもが6人とかいて内4人が大きくなるという世代です。私たちは団塊の世代なので数が多いですが子どもの死亡率が減りました。子どもの死亡率は60年代でだいたい世界のトップクラスにいくんですが、高齢者はその後です。高齢者の75才以下の方の死亡率は50年間で5分の1になりました。いまは70才と聞くと「若く」感じます。そのくらい医学の成果で人が死ななくなりました。60才過ぎると死にはじめていたのが今は80才過ぎると死にはじめます。高校のクラスメイトが90才で半分いなくなるというそういう時代です。その結果65歳以上の人口の増加です。高齢者の伸びが加速度的に増えている。前回の東京オリンピックの時、65才以上は600万人しかいなかった。いまは3,000万人ですよ。今回の東京オリンピックの違いはここです。皆が長生きするようになった。健康寿命後も生きる。残念ながら健康寿命が延びると寿命も延びるので非健康寿命が縮まらない。それくらい医療・介護力が高いからです。健康でない人も長生きする。ここで新たな社会的ニーズとして発生したのが介護です。介護が発生したのは1980年代、昭和の最後です。医療問題を解決したら介護問題が社会ニーズとして現れ、この過程で寝たきり老人という言葉が発生しました。寝たきりとは状態の名前では無く処遇の名前です。寝たきりにさせられているから寝

たきりで、今は寝たきりにさせない処遇を早めからします。昔は寝たきりにしてしまったんですね。89年来江利川さん、厚労省官僚・私学者として一緒に来介護提供体制を整備しました。1990年には介護従事者は10万人しかいません。いま200万人います。どんなにお金の制度である保険制度を作ってもサービスを提供する体制がなければ保険に人々は賛成してくれません。要介護認定をうけられ現金をもらっても救われません。要介護認定を受けて介護サービスとして施設が使えるから保険料を皆さん払って頂ける。11年間で数兆円つぎ込んで提供体制を整備していきました。ゴールドプラン・新ゴールドプラン・ゴールドプラン21。3つのゴールドプランを動かして介護提供事業者を作りました。2000年に介護保険制度をバブル崩壊の不況のさなか新たな増税。10兆円の制度ができました。当初は4兆円です。2兆円は他の会計から移しましたが2兆円は新たな増税です。しかし介護保険の支持率はいまだに極めて高く、国保や年金のような不払い問題は起きていない。みんな自分の老後、自分の親の事を考えたら介護保険料位しょうがないかと払って頂ける。おそらく日本の介護保険制度は世界のトップクラス5カ国位の一つです。医療介護含めて1割の自己負担でしかも上限がある。月5万円位を払えば一定の介護を受けられる仕組みが出来ている。介護になるという事象は不幸ですし認知症になるという、介護者が認知症になり、親が認知症になるショックは保険があってもいかんともしい難いです。あんなに元気だったお父さんが弱っちゃったとかそういうのは保険があってもしょうがない。保険の問題ではなくそれは家族の精神的な話で、少なくともサービス部門は家族の負担では無くなってきた。昼間預けられるし、来てくれるしショートステイもあります。大きな産業となりました。来年の増税からは介護従事者の賃金を、おそらく10年以上の従事者を一人4万円位月給が増える仕組みを入れます。そうすると医療ニーズが満たされたら介護ニーズが発生しました。介護ニーズは一応サービス自体を外部化にできるようになりました。それでいいかという次の問題です。人は医療と介護があれば幸せに生きられるか。年を取って要介護2になりました。自分は医療サービスが受けられる、介護サービスは受けられる、じゃあ人間としてそれで充分かという違いです。人は生きるとは自分の好きな事をする、友達と話をする、孫と喋るとか、テレビを見るとか好きなお酒を飲むとか、それが生活でしょ？ 自分の好きな菊の世話をするとか犬や猫と戯れるとか。長年喧嘩してきた妻と口げんかするのも生活です。医療介護だけでは人の人間

としての存在をカバーできない。医療とはプロのお世話を受ける必要があります。介護もプロがいます。おそらくそれではまだ5分の2ですね。生活があり・住まいがありという事でサービスをより広げなければならないという事で2008年から地域包括ケアという言葉を使うようになりました。どうしてそうやってきたのかという話をします。日本人は弱くなったから要介護者が発生してきたのか。違います。これは5才刻みの体力年齢です。10何年間で10歳位若返っています。今の60才はかつての50才。昔のお年寄りには腰が曲がったイメージですが今はないでしょ。私は現役テニスプレーヤーです。70才のテニスプレーヤー。今はテニスコートに行くとか一杯います。そのくらい体力が強くなっている。これは日本のがん死亡者のグラフです。増え続けています。よく日本人の2人に1人はガンで死ぬと言われますが、年齢階層別に見ると全ての階層でガンの発生率は下がっています。要介護者の発生率も年齢階層別に見ると下がっています。ただし人が長生きするようになると塊としては層が移るからガンが増えたように見えるし、要介護が増えたように見えるんです。私たちは死なないんです。要介護やガンにならない方法は、70才位に心臓麻痺で死ぬ事なんです。社会はこういう事を事象として受け止めなければならないんです。もう一つ言われるのは日本の家族力の低下です。昔は3世代家族が温かく老人の世話をしていた。嘘です。そんなのはありません。どうしてかという、昔は老人がいなかったんです。サザエさんの世界が典型で、あれは3世代同居です。お父さんもお母さんも同居です。お父さんは58才の設定です。あと5~6年で死ぬんでしょね。当時のイメージだと。だけど現役サラリーマンでしょ？ 要介護者じゃないんです。3世代同居は生産性が高く消費効率がよいから一緒に住んだ方が得です。3世代でも労働者です。ある日倒れて一月位で死ぬ。そういう時代。3世代一緒にいれば2世代目の娘が家事を担当していたでしょう。しかしそれと介護とは全然違います。1980年、子供と一緒に住んでいた高齢者が内8割位。400万人の高齢者が子供と一緒に住んでいた。その数が減っているかという事と違います。娘・息子と住んでいる高齢者は増え続けて、今は1,500万人。日本の家族力は強まっているんです。問題はそれ以上に高齢者が増えている事。家族力は低下していないんです。年齢区分別要介護認定率のグラフです。歳とれば高くなりますけど、ここで死ぬば高くないんです。平均値は低いです。75才以上の人口は前回の東京オリンピック時は2000万人弱しかいませんでした。500万人を超えたのが85年

です。1,000万人を超えたのは2000年になってからです。いま急坂を上って2025年、ピッタリと伸びが止まります。あと7年すると日本の75才人口はもう増えません。人類史上初めての異様な現象の途中にいます。そこで私たち大学は介護予防・住まい・本人の覚悟をこういう図柄で表すようにして、地域包括ケアを進めております。人はケアを受ければ地域に貢献できる人が沢山います。子供も障害者も虚弱な高齢者も。全部地域包括ケアシステムとして越谷市も埼玉県も取り組んでいます。私がここに来た大きな理由は埼玉県を地域包括ケアシステムの先進県にするという約束をしてきましたので皆さんと一緒に頑張るつもりです。今後何が起きるか。65才以上の人口が急増しました。75才は急増し、終わる直前。次は85才人口。これは2010年から増え始めて2015年500万人。2035年に1,000万人を越えます。85才以上が1,000万人ですよ。さっきの東京オリンピックの時に65才以上が600万人だったのに比べ、今度は85才以上が1,000万人。いかに日本が急激に高齢化しているか。高齢者が増えたか。2040年までのこの間をどう乗り切るか。そのために私たちは地域包括ケアシステム作りを進めています。もう一つ。2040年頃、日本の死亡数が最大に達します。年間160万人死亡します。死ぬ1日前、3日前、一月前にどういう処遇をするか。地域の医療介護体制の問題です。一方2025年生産年齢人口がようやく本当に激減していきます。こう重なる以上、ロータリークラブの皆さん、財界の皆さん、生産性の向上、大学を通じた研究、新しい社会システムを作らないと、病気のケアをするだけじゃなくて生産性向上のメスを入れないとならない時代です。年寄りも元気だったら社会参加し貢献します。人は自分の力で役に立つと思うと元気になります。人が参加して貢献できる社会、それを共生社会といいます。そのためには気持ちだけでなく、科学的な生産性、AIをどう使うかとかいう事をしないと日本のGDPが下がっちゃいます。この分野でGDPを上げていいじゃないですか。そのために異業種である皆さんが総体となって地域を作る。こういう時代になったのです。当県立大学はこの地域のハブとなりますので皆さんと一緒に手を携えて行きましょう。どうもありがとうございました。

◆ ビジター・ゲスト紹介

埼玉県立大学理事長 田中 滋様、企画担当課長 菅原和徳様、第8Gガバナー補佐 大熊 進様、IM実行委員長 池田玄一様、越谷中RC幹事 菊地貴光様、米山奨学生 朱 怡睿さん、

◆ **スマイル報告(敬称略)**

*本日は IM のキャラバンにきました。多くの会員の皆様の参加をお願い致します。/第 8G ガバナー補佐 大熊 進様

*本日は IM のキャラバンにきました。宜しく願い致します。/IM 実行委員長 池田玄一様

*①本日は宜しく願い致します。平田会長・若海幹事お世話になります。②本日は宜しく願い致します。木村スマイル委員長お世話になります。/越谷中 RC 幹事 菊地貴光様

*①第 8G ガバナー補佐 大熊様・IM 実行委員長 池田様ようこそ越谷 RC へ。IM 楽しみにしています。

②越谷中 RC 幹事 菊地様ようこそ越谷 RC へ。後 7 ヶ月共に頑張りましょう。③埼玉県立大学理事長 田中先生、卓話ありがとうございました。益々のご活躍をお祈り申し上げます。/平田徳久会長

*①越谷中 RC 菊地幹事、本日はようこそ越谷 RC へ。②埼玉県立大学 田中理事長、本日は卓話ありがとうございました。③昨晚開催のキャンパルクン RC 訪問団解団式に参加されました皆様お疲れ様でした。吉野委員長のお蔭で美味しい食事を頂きありがとうございました。/若海宗承幹事

*遅くなりましたが、結婚祝いありがとうございました。/小林秀男(澤幡代筆)

*埼玉県立大学 田中理事長、卓話ありがとうございました。/井橋吉一

*久しぶりに児童館ミラクルへ孫と遊びに行ってきました。そこで越谷中 RC 寄贈となっている作品を発見。子供達の科学心に灯火をつける素晴らしい奉仕活動だなあと思いました。/新井 進

*埼玉県立大学 田中理事長、本日は卓話ありがとうございました。勉強になりました。/須賀定吉

*①第 8G ガバナー補佐 大熊様・IM 実行委員長 池田様、越谷中 RC 幹事 菊地様ようこそ越谷 RC へ。IM 楽しみにしています。②埼玉県立大学理事長 田中様「多世代共生社会づくり」大変勉強になりました。只今「地域包括ケアシステム」を勉強中です。/坂巻邦夫

*第 8G ガバナー補佐 大熊さん・IM 実行委員長 池田さん、今日は IM のキャラバンご苦勞様です。越谷中 RC 幹事 菊地さんようこそお越しくございました。/中里静博

*本日、越谷市交通安全市民大会のため申し訳ありませんが早退致します。/浅見富司雄

*①越谷南 RC の大熊ガバナー補佐・池田 IM 実行委員長、越谷中 RC 菊地幹事ようこそ越谷 RC へ。②先週例会終了後に鮫島会員・横家会員・中村聡久会員より 200 ドル頂きました。本日 深野会員・澤石会員・

中村守会員・永島会員・江藤会員・澤幡会員から普通に 200 ドル頂きました。今月は R 財団月間ですが本日の月間最終例会で目標を達成する事ができました。ご寄付頂いた 53/97 名の皆様ありがとうございます。引継を今後はお約束してもらった方、まだ寄付したことない方等に粛々とお願ひ行く所存です。/豊田高行

*第 8G ガバナー補佐 大熊様・IM 実行委員長 池田様、越谷中 RC 幹事 菊地様、本日はようこそ越谷 RC へ。/増元 晃

*田中先生 本日はありがとうございました。私事になりますが慶應・文学部 2 年の姪っ子が 2018 ミス慶應コンテストのグランプリに選ばれました。これには吉野さん・丹田さんワンクリック頂き大変お世話になりました。/木村淳一

*菊地幹事もとい先輩ようこそ越谷 RC へ。仮の表敬訪問ありがとうございます。/横家 豪

*今週金曜日より国際奉仕事業で行くフィリピン・マニラへ事前調査に出発します。生きて帰ってこられるように頑張ります。/永島信之

*埼玉県立大学理事長 田中様、卓話大変勉強になりました。/江藤真吾

*所用により早退させて頂きます。/大野保司

*埼玉県立大学 田中先生、日吉でのご指導以来 越谷で再びご指導頂けた事に感激しました。開学 20 周年に向けたご活躍をご祈念申し上げます。/井橋英蔵

*本日、早退させて頂きます。/川崎健郎

本日 28 件 30,000 円 累計 961,500 円

◆ **出席報告**

本日出席率 58.24 % 会員数 98 名
出席者数 53 名 出席免除者数 19 名



田中滋 様 お忙しい中ありがとうございます。